

この説明書は、本剤とともに保管し、  
服用の際は、必ずお読みください。

## 非ピリン系解熱・鎮痛剤

# キクニホン

キクニホンはピリン系薬剤を含まない解熱・鎮痛剤で、ピリン系薬剤に過敏な体質の方でも熱と痛みにも服用できます。

### ⚠ 使用上の注意

#### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないでください
  - (1) 本剤又は、他のアスピリン(アセチルサルチル酸)製剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
  - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
  - (3) 15歳未満の小児。
  - (4) 出産予定日12週以内の妊婦。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他の解熱鎮痛剤、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用時は飲酒しないでください
4. 長期連用しないでください



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
  - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 授乳中の人。
  - (4) 高齢者。
  - (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
  - (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (7) 次の診断を受けた人  
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
  - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しき等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しき等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合。

★効能又は効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛  
2) 悪寒・発熱時の解熱

★用法及び用量

なるべく空腹時をさけて服用すること。服用間隔は6時間以上おくこと。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1包	2回まで
15歳未満の小児	服用しないこと	

★成分及び分量（1包量 1.0g 中）

日本薬局方	アスピリン	400mg
日本薬局方	アセトアミノフェン	250mg
日本薬局方	無水カフェイン	50mg
日本薬局方	ケイヒ末	100mg
日本薬局方	バレイシヨデンブン	200mg

★作 用

熱と痛みに

アスピリンとアセトアミノフェンは共にすぐれた非ピリン系解熱・鎮痛・消炎剤で、発熱・頭痛をとり去ります。

また、のどや気管支の炎症をおさえます。

無水カフェインは血液の循環を良くして他の解熱・鎮痛剤の作用を強めます。また、頭痛を緩解いたします。

胃に対する配慮

解熱・鎮痛剤の服用による胃腸障害、並びに食欲減退を緩和するため、古くから用いられています芳香性健胃剤（生薬）のケイヒ末を配合してあります。

★保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない（湿気の少ない）涼しい所に（密栓して）保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。
- (4) 使用期限を過ぎたものは服用しないでください。

★包 装

12包入                      24包入                      60包入

お問い合わせ先

深井薬品工業株式会社

受付時間：9時から17時まで（土、日、祝日を除く）

電話0832(22)2112

製造発売元

深井薬品工業株式会社

下関市入江町3番10号